

子どもの育成について

第2回子ども・子育て会議(11月26日開催)にお配りしたものです。

子ども施策総合計画の基本的考え方

「子どもが幸福に暮し自立した大人へと健やかに成長できる”ひろしま”の実現」を基本理念として掲げ、子どもたちが、大人の愛情と支えによって、幸福に暮らすとともに、様々な個性や能力を伸ばし、自立性、社会性を身に付け、生きる意欲や苦境を乗り越える力を持った大人へと成長できるよう、社会全体で子どもの育ちを推進する。

広島市のめざす人間像

「心身ともにたくましく、思いやりのある人」

ここでいう「たくましさ」とは、心身の強靱(きょうじん)さのみを意図するものではなく、向上しようとする前向きな意欲や、たゆみなく努力する態度、どんなときでもやさしさや正義感を失わない強さなども意味します。また、「思いやり」とは、弱者に対するやさしさや親切心だけでなく、人知れず尽くしている人への配慮、善意をすぐ実行できる態度、他人の喜びや苦しみに心がうたれること、自分の言動が常に反省できることなども意味しています。

[広島市 21 世紀教育改革推進総合プラン検討会議提言(平成13年2月)]

広島市の幼児教育の基本的な考え方

めざす人間像に向けた幼児の育成

「豊かな感性」

「他人を思いやる心」

[幼稚園と保育園のよりよい連携のあり方検討委員会最終報告(平成17年3月)]

広島市の教育の方向性

「自ら考え、判断し、様々な問題に積極的に対応することができる子ども、豊かな人間性を持ち、基礎的な体力や健康意識を身に付けた子どもを育てる。」

「社会を構成する一員として一定の役割を担おうとする意欲を持ち、また、他人を尊重し、思いやることのできる青少年、社会において自分の能力を適切に発揮することのできる青少年を育成する。」

これからの都市づくりの担い手である広島の子どもたちを「心身ともにたくましく思いやりのある人」として育成していくことを基本理念とし、基礎・基本をしっかりと身につけることを基盤に、規範性、感性、体力、コミュニケーション能力の育成を柱とする広島らしい新しい教育を展開してきました。今後は、こうした教育を更に充実させながら、命を大切にし、平和で持続可能な社会を創造していく力をもつ子どもを育てていくことが求められています。

[広島市教育振興基本計画(平成22年9月)]

H25 公立保育園子ども像 (各保育園の保育課程より)

- ・元気な子
- ・心身ともに健康な子

- ・意欲的に遊ぶ子
- ・意欲のある子
- ・いきいきと遊ぶ子
- ・いきいきと活動する子
- ・夢中になって遊ぶ子
- ・目を輝かせる子
- ・自主性のある子

- ・やさしい子
- ・思いやりのある子
- ・命を大切にする子
- ・平和を愛する子
- ・友だちと仲良く遊ぶ子
- ・わたし・みんなを大切にする子
- ・自分も友だちも大好きな子

- ・かんがえる子
- ・考えて行動する子
- ・よく見てよく聞きよく考えて行動する子

- ・感性豊かな子
- ・豊かな言葉が使える、人の話が聞ける子
- ・豊かに表現できる子

- ・よく食べよく笑いよく遊ぶ子
- ・食べるのが好きな子

- ・地域の文化に親しむ子

《全国保育士会倫理綱領》

私たちは、子どもの育ちを支えます
保護者の子育てを支えます
子どもと子育てにやさしい社会をつくれます

「子どもの育ち」に関して事前にいただいた意見

「子どもの育ち」について

比治山大学短期大学部 森 修也

「それぞれの子どもが自分の持っている力を十分に発揮できる」
環境を整えば、子どもは自ら成長、発達していく力を持っている。
子どもの主体性、能動性を大切にする。

〔方向性、目標として〕

1. 安心感、安全感を持てる：成長、発達の基盤、自己肯定感
2. 他者とつながる：人間は一人では生きていけない、他者との協調、助け合い、共感性
3. 自己表現できる：自分らの気持ち、考えを表現する（自発性、自立性）